

第4回勉強会開催のご案内『オノミチ・まちづくり講演会』(修正版)

尾道市とほぼ同規模の米子市で、建築家・村野藤吾の設計による米子市公会堂（築年 1958 年）が、平成 22 年 3 月に耐震性能が Is 値=0.15 と発表され、公会堂は使用停止となった。それに対し市民側は「米子市公会堂の存続と早期改修を求める市民会議」を発足し、さまざまな活動を通じて公会堂存続を訴えた。その結果、2 度の大規模改修を経て、平成 26(2014)年 3 月にリニューアル・オープンした。

演 題：「どのようにして米子市公会堂(設計/村野藤吾)は残ったか」
講演者：藤木竜也氏（千葉工業大学工学部建築都市環境学科 准教授）

- 日時：平成 26 年 12 月 22 日(月)午後 7 時～
- 参加：無料（お申込は不要）
- 会場：しまなみ交流館 1F 市民ギャラリー
- 主催：尾道の将来を考える会

お問い合わせは、西河哲也 TEL 090-9419-7881

(修正版) 尾道市公会堂 VS 米子市公会堂 (H26/10 月現在)

人口	尾道市(143,652 人 64,462 戸)	米子市(149,934 人 65,005 戸)
公会堂の設計者	増田友也（築年 1960 年）	村野藤吾（築年 1958 年）
公会堂の客席数	新築当時 1,561 席 現在 1,055 席(1,045 席、車椅子席 10 人)	新築当初 1,428 席 現在 1,126 席（1,120 席、車椅子 6 席）
総工費	1 億 8,292 万円 (うち 1 億 300 万円が市民・企業から寄付)	1 億 7,600 万円 (うち 5,242 万円が市民・企業から寄付)
その後の改修工事	2007 年内装改修工事費 2 億 4,045 万円	1980 年増改修工事費 10 億 1,000 万円 2014 年設備・耐震改修工事費 15 億円
耐震性能	調査せず平成 26 年 10 月解体を決定	Is値=0.15
公会堂から約 2km圏内の他のホール	しまなみ交流館(築 1999 年)690 席 尾道市民センター(築 2009 年)400 席	米子市文化ホール(築 1990 年)672 席 米子コンベンションセンター 大ホール 2004 席 小ホール 300 席

平成 26 年 12 月 17 日（修正版）

尾道の将来を考える会

末永 航（美術史家、広島女学院大学国際教養学部教授）

西河哲也（地域プランナー、東京工業大学非常勤講師）

岡河 貢（建築家、広島大学大学院准教授）